

話題の最前線を行く

# 成功のヒミツ 失敗しないコツ

<297>

## 産みたて卵に 新鮮野菜

60代の夫婦など利用が増えている。コロナ禍で好評なのは、車で行く、泊まる家が一棟貸しで

コロナ禍で農漁村のローカル宿の予約サイト「gocchi荘」が人気を呼んでいる。

奈良、京都、滋賀、和歌山など関西や近畿地方を中心に国内50軒の宿が登録されており、観光とは無縁と思われていた農家や古民家に泊まり料理や体験が楽しめる。20〜30代の女性や、

岡田奈穂子さん  
(写真はすべて  
金丸弘美提供)



## 観光とは無縁だった 農漁村の宿をマッチング



農家民宿ほろろん



古民家ゲストハウスやまぼうし

密を避けられるためだ。土日は満室というところも多い。

京都市右京区京北大野町「農家民宿ほろろん」。20年前のかやぶきの古民家。娘さんがUターンし、父娘で経営。平飼いの鶏の産みたて卵を鶏舎に取りに行き、タマゴかけごはんを食べるという体験コースが組

み込まれている。夏には畑でのスイカやトマト、秋にはナスやイチジクなどを収穫し、採れたて新鮮野菜を料理にしていただけ。

兵庫県丹波篠山市「古民家ゲストハウスやまぼうし」。築100年の古民家を、主人がDIYで改装。ドッグラン、BBQなどがある。自家栽培の野菜が料理に登場する。

の選定は自治体が移住・定住促進に力を入れている地域だけでなく、行政・地銀などの紹介を受け実際にオーナーに会い意気投合したところと連携している。

サイトには、宿主、家屋、部屋、キッチン、アメニティ、季節の料理、交通手段、周辺の直売所や農家レストランや見どころまで写真入りで丁寧に紹介。多言語機能もある。

宇陀市、滋賀県高島市、京都府亀岡市などは移住支援の相談窓口や助成制度も充実している。地域の案内もしている。U、Iターンが多い。都市での仕事のスキルを生かし宿運営をされているところも多いです。ホームページも充実し、料理の見せ方や演出もうま

今後の課題は個人への対応  
会社設立は2018年。岡田さんは独立前、通販会社で海外雑貨の企画・輸入を担当。そのとき40万、120都市の旅を体験。そのノウハウを生かし個人向けのフルオーダーメイド型旅行会社を設立。フランス、イタリア、スペインを中心に200以上の旅を手がけた。そして国内の旅の提案が始まった。

手がけたのは「Tabi e a Cloth」(岡田奈穂子代表取締役)だ。宿権を持っているのはたいいてい女性。女性が訪れたい演出を心がけています」と岡田さん。

「ただ海外に比べて日本国内旅行の受け入れはまだ団体向けが多い。海外だとワイナリーやチーズ工房、農家でもふらりと行っても個人対応や購入もできる。一棟貸しの古民家も多くある。国内でも個人対応が増えれば、もっと利用は増えるでしょうね」と岡田さん。

## 予約サイト

# gocchi荘

(取材・文)金丸弘美